

■日時

平成31年3月22日（金）午後3:00～午後4:00

■会場

亀岡市役所 2階 201会議室

■議事

- 1 開会
- 2 亀岡中学校ブロックの取組について
- 3 東輝・詳徳中学校ブロックの取組について
- 4 別院中学校ブロックの取組について
- 5 その他
- 6 閉会

■意見交換発言内容

会長 (教育部長)	次第の「2 亀岡中学校ブロックの取組について」事務局から説明いただきたい。 <事務局説明>
会長	今、事務局から次第「2 亀岡中学校ブロックの取組について」について説明があった。何か質問等があればお願いしたい。
委員	亀岡中学校は教室に余裕がある。亀岡小学校で教室が足りなくなり、保津小学校では児童数が少ないのであれば、小学校の校区割をうまくできないものか。
会長	東輝・詳徳中学校ブロックの課題も踏まえた亀岡中学校ブロックでの取組となる。
委員	城西小学校と亀岡小学校のどちらも教室が足らなくなるのであれば、どこからかで線を引いて、城西小学校か亀岡小学校に割っていくしかない。ただ、亀岡駅北地域がひとつのコミュニティとするなら、分割するのは難しいのではないか。学校の適正規模からみて、亀岡小学校の850人は多すぎるのではないか。
事務局	今回示したのは、亀岡駅北の全ての地域を亀岡小学校あるいは城西小学校としたが、この地域は、まだ誰も住んでいないので自治会がどのように形成されるのかが決まっていない。ひとつの自治会なのか、複数に分割されるのか決まっていない。ひとつのコミュニティであれば、ひとつの学校の方がいいとの意見

	<p>が出ていた。その地域の自治会をどうしていくのかは、住んでいる人がいない中で、最初に決めることができない。そのため、どこで分割するのかという案は示しにくかった、というのが今回の状況である。今、土地区画整理組合で意見集約をさせていただいており、その結果もみながら協議を進めていかなければならない。</p>
会長	<p>住宅販売もあることから一定の時期には、答えを出していかなければならないが、現状ではなかなか住宅の戸数を見込みにくいところがあるので、引き続きデータの収集に努めたい。次に保津小の特認校の件はどうか。</p>
委員	<p>亀岡市で3校目の小規模特認校になるが、他の市でそういう事例はあるのか。小規模特認校を実施していて中学校がどこの学校かが保障されているというやり方をとられている学校もあると聞いた。中学校とのつながりがはっきりできないと小中連携の面で難しいのではないか。</p>
会長	<p>事務局から東別院小学校と西別院小学校の小規模特認校の状況を説明してほしい。</p>
事務局	<p>東別院小学校は、初年度に3人、翌年度に1人が入学し、来年度は新6年生が1人入学する。西別院小学校は、初年度に1人という状況である。ただ、東別院小学校と西別院小学校を卒業した後、別院中学校へ進学していただくことはできるし、従来の中学校へ進学することもできる。</p>
委員	<p>保津小学校から小規模特認校に通っている児童もいる。小規模校から小規模特認校へ出て行かないように制限をかけることはできないのか。</p>
事務局	<p>保護者がその学校に魅力を感じて通学されるので、制限をかけることはできない。知る限りでは、他市でも制限をかけているところはない。</p>
会長	<p>東別院小学校と西別院小学校は山間地域の小規模特認校であり、保津小学校は市街地での小規模特認校ということで取り組ませていただきたい。事務局から「東輝・詳徳中学校ブロックの取組について」説明願いたい。</p> <p>(事務局説明)</p>
会長	<p>事務局から次第「3 東輝・詳徳中学校ブロックの取組について」、平成30年6月の教育委員会で校区見直しを決定し、現在は準備を行っている。通学路の安全対策と学用品の対応について説明があった。それ以外に不安軽減についてあれば説明をいただきたい。</p>

事務局	スクールカウンセラーについて、移動元の学校に平成30年度から配置した。平成31年度も引き続き配置したい。
委員	整理されて粛々と進めていただいている。学級編成の配慮など学校がやらないといけないことや学校間で連携しながら進めていかなければならないことも整理できている。子どもたちの不安を少しでも減らして、希望と期待をできるだけ持たせるような取組をしたい。
会長	次に、事務局から「別院中学校ブロックの取組について」説明願いたい。 (事務局説明)
会長	事務局から「別院中学校ブロックの取組について」説明があった。別院中学校ブロックについては、平成28年度に市の計画案として、東別院小学校と西別院小学校は小規模特認校にして複式学級を解消できるような取組を進めていき、別院中学校は、南桑中学校または亀岡中学校に編入するという案を提案させていただいたが、現在定住促進や移住促進を行っている中で核となる学校がなくなるということが理解されにくいことから、どのような形がよいのか地域の声を聞きながら継続して取り組んで参りたい。
会長	本日の協議事項は以上です。全体を通して何かありますか。その他事務局からあればお願いしたい。
事務局	亀岡市内の学校規模適正化の取組については、亀岡中学校ブロック、東輝・詳徳中学校ブロック、別院中学校ブロックの3ブロックで取組を進めている。そのうち、東輝・詳徳中学校ブロックについて、平成32年4月に実施すべく予算の獲得に向けて進めている。亀岡中学校ブロック、別院中学校ブロックでは具体的な取組ができていない状況である。加えて、亀岡市西部地域の本梅小学校、畑野小学校、青野小学校については、児童数が減少しており、今後複式学級になることも想定される状況である。そのようなことから現在取組を進めている3ブロックに加えて、新年度からは西部地域の育親中学校ブロックについても取組の検討を進めていきたい。場合によっては、自治会や保護者のご意見を聞かせていただく機会も設けていければと考えている。
会長	他に何もないければこれで会議を閉じさせていただく。 (会議終了)